

(書 式 2 - 5 - 4)

無 断 転 貸 を 理 由 と す る 解 除 通 知 書

通 知 書

当 社 は ， 貴 社 に 対 し ， 平 成 ○ ○ 年 ○ ○ 月
○ ○ 日 より ， 後 記 建 物 （ 以 下 「 本 件 建 物 」 と
い い ま す ） を ， 賃 貸 い た し て お り ま す （ 以 下
「 本 件 賃 貸 借 契 約 」 と い い ま す ） 。

賃 貸 借 契 約 に お い て は ， 賃 貸 人 の 承 諾 な
く し て 賃 借 物 を 転 貸 で き な い こ と は 民 法 の 規
定 す る と こ ろ で あ り （ 民 法 第 6 1 2 条 第 1 項
） ， さ ら に 本 件 賃 貸 借 契 約 に お い て も そ の 旨
合 意 し て お り ま す （ 契 約 書 第 ○ ○ 条 ） 。

し か る に ， 貴 社 は ， 当 社 の 承 諾 を 得 な い
ま ま ， 無 断 で 本 件 建 物 を 第 三 者 ○ ○ ○ ○ に 転
貸 し 使 用 さ せ て お り ま す 。 か か る 行 為 は ， 当
社 の 貴 社 に 対 す る 信 頼 を 完 全 に 損 な う も の で
あ り ま す 。

当 社 は ， 貴 社 に 対 し ， 平 成 ○ ○ 年 ○ ○ 月
○ ○ 日 付 通 知 書 に よ り ， 通 知 書 送 達 後 直 ち に
転 貸 行 為 を や め る よ う 警 告 い た し ま し た が （
内 容 証 明 は 平 成 ○ ○ 年 ○ ○ 月 ○ ○ 日 に 貴 社 へ
到 達 し て お り ま す ） ， 現 在 に 至 っ て も 転 貸 は
継 続 さ れ た ま ま で あ り ま す 。

当 社 と し ま し て は ， 貴 社 が 当 社 に 無 断 で

本件建物を転貸し，当社からの中止の警告にも応じない以上，到底，貴社との信頼関係を維持していくことはできません。

したがって，契約継続は不可能であり，本件賃貸借契約を解除させていただきます。

物件の表示

所在地 ○○市○○町○丁目○○番地○

家屋番号 ○○番○

種類 ○○○○

構造 ○○○○

床面積 ○○.○○平方メートル

平成○○年○○月○○日

○○市○○町○丁目○○番○○号

甲株式会社

代表取締役 ○○○○

○○市○○町○丁目○○番○○号

乙株式会社

代表取締役 ○○○○ 殿

解説

無断転貸がなされた場合に解除するには、①転貸借契約の成立、②同契約に基づき転借人が引渡しを受け使用収益したことが必要である。

